



## ほいく誌 10月号から 学童保育を求め、つくってきた人々

9月号でご紹介した「実践ノート」の続編が掲載されています。学校から学童までの道のりで起きたトラブルがどうなったでしょうか。4人子ども達がどうしてぶつかり、指導員の飯沼さんがどのように関わったのか、そしてわかりあえたのかどうか…気になる方はどうぞご覧ください(P.54~57)。

さて、10月号から始まる【講座】学童保育を求め、つくってきた人々 学童保育の歴史から学ぶ、第1回は敗戦直後、学童保育がまだなかった時代の話です。クラブの会の総会議案書の終わりに学童保育の歴史が掲載されていますが、その最初の部分です。大阪市の今川学園保育所園長の三木達子さんが始めた取り組みのきっかけは、空襲で母親を亡くし「おせんべのかげら半分も残していない家」で生活するK子ちゃん、父親が病気のT坊、母が入院中のH子らが放課後の時間をどう過ごしているのか、気がかりに思ったことでした…。

近頃あたりまえのようにある学童保育ですが、ここに至るまでにはたくさんの保護者や指導員の努力があり、現在も「学童保育をよりよいものにする」思いを胸に改善を求め続けています。その始まりやその後の歴史がどのようなものであったのか、全6回の連載で見たいと思っています。



## ホームページからも受け付けます【要望・意見・苦情】

クラブの会ホームページには「お問い合わせフォーム」があります。

お問い合わせだけでなく、要望や意見・苦情にもご利用ください。

自治体や学童保育を運営する事業者は、運営や保育に対する子ども・保護者からの要望や意見・苦情を受け付ける窓口・体制を整備し、周知していくことが求められています。要望や意見・苦情などがあった場合、迅速な対応を図り、その際通報者の不利益とならないよう配慮するとともに、子ども・保護者と学童保育がよりよい信頼関係を築けるような対応に努めることも求められています。

クラブの会は、各クラブの保護者会が飯能市から委託を受け運営をする、いわゆる「民営」です。運営者は「保護者」自身であるがために、言いづらいこともあつたりするかと思います。その際にはクラブの会が窓口となり、運営を改善する発信元になります。保護者の皆さんで、運営をよりよいものとするよう一緒に考えていきましょう。これまで電話や文書などでの受付となっておりますが、ホームページの立ち上げに伴い受付方法も増やせましたのでお知らせ致します。

飯能市学童クラブの会 公式ホームページ

<http://hanno-gakudouclub.com>



## 平成30年度入所に向けて準備をしています

10月に入ると、学校では就学時健診が始まります。健診や入学前の説明会ではクラブの会のチラシやパンフレットを配布します。年明けになると新年度の入所説明会がありますが、学校によっては入所説明会後に入学前説明会となるところもあると思います。ご兄弟の入所をお考えの方や、お知り合いで学童保育のご利用を検討されている方がいらっしゃいましたら、下記の入所説明会にご参加くださいますようお願いいたします。

平成30年度入所説明会は…

平成30年2月4日(日) 13時30分～ 飯能中央地区行政センター集会室 です!